

様式 2

第3回安曇野市放課後子どもプラン運営委員会 会議概要

1	審議会名	平成19年度第3回安曇野市放課後子どもプラン運営委員会
2	日 時	平成19年10月23日 午後6時30から午後8時30まで
3	会 場	豊科公民館二階大会議室
4	出席者	浅川会長、宮下委員、三好委員、原田委員、横内委員、歌代委員、具原委員、小笠原委員、三澤委員、中田委員、川口委員、西村委員、塩原委員、腰原委員、松枝委員、務台委員
5	市側出席者	保崎教育課長、山田教育課長、三澤教育課長、唐沢教育課長、丸山生涯学習係長、竹田生涯学習係長、細萱生涯学習係、等々力生涯学習係、市川生涯学習係、宮沢生涯学習係、安藤児童保育課児童係長、白澤児童係、洪田見子ども支援係長、堀子ども支援係
6	公開	
7	傍聴人 2人	記者 0 人
8	会議概要作成年月日	平成19年11月7日
協 議 事 項 等		
1、	会議の概要	
(1)	開会	
(2)	あいさつ	
(3)	議事	
①	放課後子ども教室について	
ア、	アンケート結果	
イ、	豊科地域3校、明科地域2校の実施状況と課題	
ウ、	未実施地域（穂高3校、三郷1校、堀金1校）の状況	
エ、	平成20年度の実施の計画	
	・ 実施校の課題の克服	
	・ 未実施校の計画	
②	放課後子どもプラン全体について	
ア、	放課後子ども教室と放課後児童クラブとの連携	
③	そのほか	
(4)	閉会	
2、	議事の概要	
	【事務局より前回会議の概要の説明】	
①	放課後子ども教室について	
ア、	アンケート結果	
	【事務局よりアンケート実施結果の概要説明】	
委 員：	予想以上に好評である。子どもも満足しているし、親も喜んでいるという状況が現れている。この活動を何とか良い方向で広げていくことは大事だと感じた。「週一回だからこそ」思い切り遊べる、迎えにいける、楽しんで参加出来るということが焦点では。無理をしない中で十分満足させる状況が分かった。	
委 員：	思った以上に実施して欲しいという願いと、週一回という状態に、今の世の中の現状を感じた。子ども達の実情を見た時に、昔とは違う、新しいものが求められていると感じた。どうしても安全上、大人の手が入るが、逆にいえば子どもだけでも何とかしていられる状況になればもっと良いと思う。	
会 長：	予想以上好評ということ、週に一回ということがある意味で子ども達にインパクトを与えている。	
委 員：	親たちの反応が良いので、ありがたい。豊科南小はスタッフの50%が保護者。管理員が自分の子どもと一緒に他の子どもと遊び、その中で親同士のコミュニケーションもとれている。豊科地域としては現状でうまくいっている。また、体育館の中は狭いが、子ども達は狭いなりに楽しんで遊んでいることも良い。そして二学期から「宿題タイム」を設けた。授業が終わってそのままの状態ですら遊んでしまうと、子ども達のテンションが上がったままなので、怪我をしたり、喧嘩をしたり、子ども達のつかかり合いがある。「宿題タイム」を設けることにより、お母さん達にも喜ばれている。	

オブザーバー：豊科南小学校会場で安全管理員をしている。今年で3年目。いろんな学年、他の地域の子とも遊ぶことも有り難く、また、安全管理員も父兄だけでなく、おじいちゃん・おばあちゃんや地域の方にも支援していただき、色々な地域の方との繋がりもできるので、家族としても、私としても非常にありがたい。自分も手伝いができるのなら、と管理員にさせていただいた。今回アンケートを出していただいたが、アンケートをすることを知らなかったので、事前に教えてもらえればありがたい。できれば、この運営委員会での代表的な意見だけでも安全管理員にしっかり話しを伝えていただきたい。

会長：遊びの場と宿題をする場が同じでなく、近くで別々にあれば最高に良いかと思ったりもするが、この辺りは学校と協議しながらだと思う。とても良い方向で動き出しているの、特に大きな問題はないと思う。実施校、未実施校でも「やって欲しい」という保護者の考えがみえる。

イ、豊科地域3校、明科地域2校の実施状況と課題

事務局：豊科の実施状況が出たので、明科の現状をお話いただき、課題、課題の克服を少し整理いただきたい。

委員：明科地域は、一学期はほとんど欠席がない状態だったが、二学期から少し出てきた。帰宅は集団下校・見守り隊の帰宅等あるが、アンケートを見て気付いた事は、あるお母さんが「うちの子は集団下校の班長をしているが、私が行かないと駄目だから、行かなくちゃ」と言って、大変責任を持ってやらせていただき、感謝しているを書いてあった。そんな所からも責任感が出たり、友達同士の繋がりが出来たりしていると思う。活動は体育館なので、飛び跳ねる事が多く、縄跳び・ドッジボール・フリスビーのようなものをやったりと色々。また、他にもマジック指導の方に来て頂いたり、オカリナのグループに演奏に来てもらった。ただ、低学年にはじつと静に、音を聞いて楽しむのは少し難しい感じがあった。しかし、色々な活動を広げていければ良いと思っている。これから冬を迎えるにあたり、体育館で飛び跳ねるだけでなく、静かな活動もあれば、教室等もできるだけ解放していただければありがたい。

委員：豊科では母さんが安全管理員をやっている。明科にはそういう方がまだまだあまりいない。本当はそういう人達も入り、本来なら自分の子どもを見る事が大切なので、協力していただける方があれば、一人でも二人でも入ってもらいたい。時間の空いているときに時々でも来てくれる若い女性、おばあちゃんの世代、お母さんの世代と、色々な年代で子どもを見る事ができると良い。

委員：この運営委員会の委員は、普段の子ども教室の現場を見に来てもらえない人がほとんどで、現場を知らない、子どもの状態も管理員の苦労も分からないので、本当は現場に来てもらいたい。

例えば教育長が来てくれても良い。子ども達は校長先生が来てくれるとすごく喜ぶし、前に来ていただいた時はすごく喜んで遊んだ。毎回は出来なくても、一年に一度位は一つにまとめる事も豊科ではやり始めているが、良くなっている成果を是非見に来てもらいたい。

会長：事務局でも考えていただきながら、校長先生方にも子ども達の様子を見に来てもらえればありがたい。

ウ、未実施地域（穂高3校、三郷1校、堀金1校）の状況

【事務局より未実施校の状況の説明】

事務局：特に穂高北小の登録希望人数が多いので調整する必要があるかと思う。しかも来年度大規模改修工事が行われるので、子ども達の安全をきちんと確保できるかという点が一番気がかり。ただ、講堂も使えるし、保護者の皆さんからそれだけの要望があるので、穂高北小も含めて5校とも実施したいという考えを持っている。なお、実施日は週1日で進めたい。細かな調整事項はいくつもあるが、まずは、その辺りでご意見とこの運営委員会としての確認を戴きたいと思う。

会長：事務局からの提案についてはどうでしょう。

一同：了承

エ、平成20年度の実施の計画 ・実施校の課題の克服

会長：先程出た「冬の活動についてどうしたらよいか」ということで何かありますか。

委員：絵を描くなど、静的な活動もありますが、そういう面では部屋を借りて、ストーブのあるところで活動できればありがたいかと。それは学校の協力を戴き、また話し合っ進めていきたい。

委員：豊科も静的な活動をする子は何人かいる。体育館内でやっているのだから寒くないかと心配するが、案外子どもは寒がっていない。できれば一つの所で安全に活動させたい。

会長：宿題タイムも10分、15分位やるとなると、寒い時期は大変だと思う。何とか工夫ができれば。

事務局：来年度に向けての課題の克服という事で、2点程考えている。一つ目は、スタッフの充実ということ。新規の5校も含め、皆さんからお話があったようにPTAの参加などをお願いしていかないと、円滑な実施は難しいのではないかと思います。それから、それぞれの地域に特技や技能を持った方を派遣できるようなバックアップできる体制を整えたい。また、今豊科地域では、一人のコーディネーターで3校を見てもらっているが、もう少しきめ細かく、各校1人ずつのコーディネーターを配置できるような事を考えている。二点目は、静かな活動の場の確保。これは学習活動の充実という事につながっていくかと思うが、放課後子ども教室では学習をするという学習支援を行う所までは、安曇野市ではまだ、踏み込む状況ではないかと思えます。ただ、子ども達が自主的に宿題をするなど、上の子が下の子に教えるといった動きがでてきていることは非常に嬉しい事で、それを含め、静的な活動、情緒の獲得などを含めた活動

の場を提供出来るよう、これから学校の先生とご相談したい。すぐに無理を言っても難しいが、子ども達がどの位決まり事をきちんと守れるか、学校の会場も許される範囲はどこまでかというようなことをきちんと確認、突き詰めながら、もし学校で使わせて頂けるような意見があればご提供頂く方向を考えていきたい。二点申し上げたが、未実施校についてはすぐには無理かと思うが、まずはきちんとした体制を整えてスタートさせていきたいと考えている。

委員：アンケートに書かれている言葉を見て、「両親も帰りが遅く家の中で閉じこもりゲームをしている姿は本当に悲しい」と感想を書いたお母さんがいる。こういう状況を打破したいと親は皆思っているし、子ども達もそう願っているように思う。家の人が帰ってくるまでの子守をするというような消極的な発想ではなく、子ども達に関わってもっと積極的に汗を流し遊ぶという機会を確保したい。他の市町村に負けない環境やスタッフを整えて安曇野市の青少年健全育成の違いを出した充実したものを目指す。そうすると学校をはじめ、皆でこういう活動を考えていかなければならない雰囲気が出てくるのではないかと。現場にいかなければ分からないという話ではなく、色々な立場の人が色々考えていくことが、運営委員会の必要性だと思うし、文部科学省が言っているところであると思うので、私みたいに携わっていない人間でも意見を述べる場があってもいいのではと思う。

委員：長野県ではないが、わいわいランドのようなかたちの小さなものが学校内にできて、それが何年か先にNPOになって、市全体の一つの形になった場所がある。調べられるようなら参考にして頂きたい。できれば最初に成功しているような場所に視察に行った方が良くと思う。ただ、行くには予算もあることなので…。

豊科北小では、現在体育館が小さいという事で勤労者スポーツ体育館を使用しているが、一般道路を移動している。最初校庭を横切らせて欲しいとお願いしたが、校庭がぐちゃぐちゃになるからと学校に断られた。できれば校庭の横を歩かせてもらえるようお願いしたい。

②放課後子どもプラン全体について

【事務局より放課後子どもプランについての説明】

委員：児童クラブについては現在市内9児童クラブで行っている。基本的に各小学校区1児童クラブ、1児童館と将来的な方向を持っている。ただし明科地域においては、「ひまわり」という施設で両方の小学校を合わせた形の児童クラブを運営している。児童クラブは、あくまで保育に欠けるという視点で、現在小学校3年生までの子どもをお預かりし、適切な遊びを与えながら、そこで若干学習の場も捉えながら、主に生活の場というとらえ方の中で、児童厚生員がお世話をするという状況。

その他児童館の役割として、児童クラブだけでなく、満18歳までの子どもを対象に誰でも自由にそこに来て遊べるという形で児童館を開放している。しかしながら、主には小中学生が利用しているというのが現実です。大いに利用して頂きたいが、アンケート結果を読ませていただいて、まだまだ浸透されていない部分、誤解されている部分がある気がする。例えば、放課後子ども教室「わいわいランド」に登録している子どもについては児童クラブの登録を断られたという記述があるが、こんな事は決して無い訳です。児童クラブはあくまで保育に欠けるという視点で、該当すれば入所することができる。あるいはそういう経験が若干過去にあったのかなということかもしれません…。

今後の整備の方針ですが、安曇野市の中でまだ児童館施設がない地域があります。今年度に三郷児童館、来年度以降ですけれど、出来るだけ早い時期に堀金児童館、それから豊科東小学校区上川手の整備と、各小学校区に一館ずつ児童館を整備していきたいという方向でいます。

小学校6年生までの児童クラブの受け入れを拡大してほしいという要望もアンケートのなかにあります。施設面の関係もあり、現在は3年生までという形で、どうしても対応できていないのが現実です。そこが、いわゆる放課後子ども教室の「わいわいランド」との連携がとれる部分なのだと考えます。わいわいランドでは保育に欠ける、欠けないの視点は関係なく、すべての子どもさんに遊びを提供していく形態ですので、つまり、このあたりが今後ともうまく連携がとれていけば、放課後子ども教室と、放課後児童クラブの両方が両立した形で推移していけると考えています。

児童クラブは夜7時までの延長があります。基本的には6時までだが、それではお迎えにこれないお母さん方もいますので、これも登録制だが、7時まででは見るという方向です。

会長：児童クラブ登録できなかった子どもも、自由来館という子どもは6時まで児童館では遊べる。が、かばんを一旦自宅においてこなければならぬんですね。

委員：はい。というのは子どもさんが学校から直接児童館にいくとどこにいったか家の人にはわからない。あくまで一旦帰宅し、かばんをおいてから来るというのが自由来館の原則です。ただし、学童保育は学校から直接きていただくという形です。

会長：児童クラブが3年生までということで、児童クラブにきていた子どもが4年生から一人で留守番をしなければならぬ。それが親たちは心配。そこで6年生までという要望があるが、施設の面でそうもいかないと。そういう子どもさんが例え、一日でも水曜日に放課後子ども教室のほうに来て活動できればありがたいと、そんな気持ちをたぶん親たちももっているのではないかなと思う。

時には学校の先生方も児童クラブにもいっていたらなければ、子どもも喜びます。先ほども子ども教室にも来ていただくと思えば、子どもも喜びました。校長先生だけでなく教頭先生、担任の先生にも来てもらって様子をみていただければ、子どもは喜びます。是非そんなことも心がけていただければと思います。